

# 会 議 録

## 1 会議名

第1回上越市福祉有償運送運営協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成28年度福祉有償運送の実績報告について（公開）

(2) 登録団体の更新に係る審議について（公開）

## 3 開催日時

平成29年7月21日（金）午前10時から

## 4 開催場所

上越市市民プラザ 第4会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：竹村康仁、樋口秀、伊藤桂子、竹内敬次、山川美香、野本宏之、  
丸山浩秋、板垣島美子、佐藤正明（代理）、横山新太郎（代理）

・事務局：福祉課 藤井係長、大島主任

## 8 発言の内容

（藤井係長） ただいまから、平成29年度第1回上越市福祉有償運送運営協議会を開会させていただきます。

本日は、ご多用の中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の出席についてですが、牧野委員から欠席の連絡をいただいております。そのほか、当市の企画政策部長である黒木委員の代理として、新幹線・交通政策課の佐藤課長が出席しております。また、健康福祉部長である八木委員の代理として福祉課の横山課長が出席しております。

よって、当協議会設置要綱第6条第2項の規定により、本会は成立しておりますことをご報告申し上げます。

続いて、次第2の「協議会委員の変更について」事務局から報告いたします。昨年度、福祉有償運送を実施する団体を代表する人として、

「みんなでいきる」の片桐公彦様が委員を務めておりましたが、このたび、片桐様が「みんなでいきる」を退職されたこと、及び「みんなでいきる」から代替の委員の選任が困難との申し出がありましたことから、他の福祉有償運送を実施する団体から、かなやの里更生園の伊藤桂子様  
に委員を変更しております。

また、「NPO雪のふるさと安塚」につきましては、昨年度まで岡武夫様が委員を務めておりましたが、役員の変更に伴い、竹内敬次様に委員を変更しておりますので、ご報告いたします。

それでは、次第3の議事に入らせていただきます。協議会設置要綱第6条第1項の規定により、樋口会長から進行をお願いいたします。

(樋口会長) 長岡技術科学大学の樋口と申します。専門は中心市街地の活性化や都市再生です。上越市は広域合併をして広い地域となっており、中には外出について困られている方もおられると思われまますので、目的地までどのように運んでいくかは重要なテーマだと思います。皆様から忌憚のないご意見を頂きながら、制度をどのように維持できるのか協議したいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

これからの議事進行につきましては、私の方で進めさせていただきます。議事が円滑に進行しますよう皆さまのご協力をお願いいたします。それでは議題(1)の「平成28年度福祉有償運送の実績報告について」、事務局から説明をお願いします。

(大島主任) (資料1により説明)

(樋口会長) 今ほど事務局から「平成28年度福祉有償運送の実績報告について」の説明がありました。委員の皆さん、ご意見・ご質問ありませんか。

(山川委員) 利用者の立場として、「みんなでいきる」のサービスが休止してしまひ辛いと感じてひます。

(樋口会長) 福祉有償運送に関して、利用者から市に不満等の声は挙がってひま

すか。

(大島主任) 利用者から直接、市に不満等のご意見はありません。但し、実施事業者からは運転手の確保が困難との意見を受けております。

(樋口会長) 続いて、議題(2)の「登録団体の更新申請について」であります。事務局から説明をお願いします。

(大島主任) 今回の更新は「NPO法人 NPO 雪のふるさと安塚」と「NPO法人 スキップ」の2団体です。更新資料については、事前にお配りした資料のほか、本日配布している資料がございますが、福祉有償運送の更新では、地域の運営協議会の合意が必要となることから、委員の皆さまから審議いただき、合意の有無を諮っていただきたいと存じます。

最初に「NPO法人 NPO 雪のふるさと安塚」から代表の方より申請の内容をご説明いただき、説明終了後、質疑応答の時間を設けさせていただきます。質疑応答後、続いて「NPO法人 スキップ」の説明、及び質疑応答に移り、その後、事務局から監査報告を行います。

審議は委員のみで行いますので、説明団体のほか、傍聴者、記者、他の更新団体につきましては、監査報告の後に、一旦ご退席をお願いすることになります。なお審議が終わりましたら、ご退席者入室ののち、審議結果をお伝えいたします。

(樋口会長) ただいま、事務局から審議の進め方について、説明がありましたが、委員の皆さん、ご異議ございませんか。

それでは「NPO法人 NPO 雪のふるさと安塚」の説明に移ります。

(更新団体) (NPO 雪のふるさと安塚)

雪のふるさと安塚の竹内です。29年度の申請内容につきまして資料2により説明いたします。登録者数については56人。内訳といたしまして要介護認定者が31人。身体障害者が25人となっております。車両台数15台、運転者数13人、運行料金の金額は70円/kmです。平

成28年9月に待機料金が設けられましたが特に不満は出ておりませんのでご理解して頂けたかと思えます。

福祉有償運送につきましては、地域の利用者からは喜ばれております。説明は以上です。

(樋口会長)            ありがとうございます。では質疑に入ります。委員の皆さん、ご意見・ご質問ありませんか。

(竹村委員)            今回の更新では、昨年度の実績と比べると運転者数が7名減っていますが何故ですか。

(更新団体)            運転手はおおむね70歳までということで該当者は減らしました。運転手は新規で探している最中ですが、今後も確保に向け取り組んでまいります。

(丸山委員)            待機料金について、通院等により安塚から旧市内まで利用した場合、運転手が安塚まで戻るのが困難であるため待機を行い、待機料金を受領するという認識でおりますが変わりはないでしょうか。

(更新団体)            待機料金について市内は一律で設定しています。安塚区内の診療所等の受診であっても診療時間が一定ではないため、時間に応じた待機料金を受領しております。

(丸山委員)            通院等の往復利用の場合、運行数は1運行としているのか、2運行としておるのか。

(更新団体)            行きと帰りの2運行としております。

(竹内委員)            旧市内への利用と安塚区内の利用での待機料金発生割合は。

(更新団体)            手元にあるのが4月分であるが、待機料金を受領した30回のうち、

安塚区内の利用で待機料金が発生したのが6回の状況でした。

(樋口会長)

そのほか質問はよろしいでしょうか。

続きまして、「NPO 法人 スキップ」の説明に移ります。それでは申請者「NPO 法人 スキップ」の代表の方は、ご説明をお願いいたします。説明される方は、説明席に移動をお願いします。

(更新団体)

(スキップ)

NPO 法人スキップです。平成18年から約10年間安心安全を第一に努めてまいりました。その間無事故、無違反で利用者の安全に寄与してきたところです。更新されましたら、今後も安全安心に努めてまいります。

それでは更新内容につきまして、資料2にそって説明いたします。代表者につきまして昨年変更いたしました。また事務所の所在地が大町へ変更になりました。登録者数32人、車両台数9台。また、運転者数は9人で前回と変更ないところですが、運転手が高齢化してきているため、新しい運転手の必要性について考えていきます。運行料金の金額は40円/kmです。待ち時間についてですが、移動支援サービスと合わせての利用が多いため、その間についてはヘルパーによる移動支援サービスを提供しているところです。説明は以上です。

(樋口会長)

ありがとうございました。では質疑に入ります。委員の皆さん、ご意見、ご質問ありませんか。

(竹村委員)

3年ぶりの更新ですが、何か困ったことがあれば教えて下さい。

(更新団体)

事務担当の者ですが、困ったことにつきまして小さなことはいくつかございますが、大きな事故はなくスムーズに続けてこられて良かったです。

(樋口会長)

小さなこととはどのようなことでしょうか。

(更新団体) 先ほどお話があった「みんなでいきる」の休止につきまして、前の利用者の方達から福祉有償運送について問い合わせがありました。協力したいとは思いましたが人数が限られているので難しい現状です。

(山川委員) 知的障害者にとっては移動だけでなく着いた先での行動サービスが必要です。ですが、限られています。そこでタクシー業界さんにもヘルパーを養成してもらい同行するというような事も考えてみてもらえたら嬉しいです。

(野本委員) スタッフサービスでは付き添いの業態がありますが、ハイヤーは及んでいません。業務の連携を取っていきたいと思います。

(丸山委員) 代表者が変更しましたが業務体制が変更したわけではないので、引き続き事故がないように安全に運行して頂きたいです。障害を持たれた方の移動する手段がなくて困るという意見がありました。その結果白タクに繋がるケースもあるかもません。このように福祉有償運送という制度がありますので、正しく行っているものが評価されなければならない。今後もしっかりとチェックが必要である。

(板垣副会長) スキップは介護事業も行っているのでしょうか。

(更新団体) 介護事業も行っております。

(横山委員) 事業所からは運転手の高齢化や確保が難しい、との意見がありますので、継続的な運営について考えなければならない。

また丸山委員から意見がありましたが、陰に隠れた白タクは困ることです。もしあるのであればこの福祉有償運送の会議にて審議を行うように働きかけを行っていきます。

(樋口会長) それでは、本協議会では、監査委員を置き、更新団体の業務監査を行

うこととされています。

監査結果について事務局から報告をお願いします。

(大島主任) 7月19日に今回更新する団体の監査を伊藤委員と牧野委員の2名により、上越市ガス水道局会議室において監査を実施いたしました。「運行記録」「運転前点検表」「運転台帳」等の資料を確認し、両団体とも指摘事項がないことを報告します。

(樋口会長) 今ほど監査実施報告について、説明がありましたが、監査委員の皆さん補足部分があれば説明をお願いいたします。

(伊藤委員) 資料を確認しましたがきちんとお名前や運行記録が記載されており、問題ありませんでした。

(樋口会長) これより更新の審議に入りますので、更新団体の他、協議会委員及び事務局以外の方はご退席をお願いします。

(更新審議) 2団体とも更新について異議なし

(樋口会長) 審議の結果につきまして報告します。審議の結果、「NPO法人 雪のふるさと安塚」「NPO法人 スキップ」につきまして、本運営協議会の合意に至ったことを報告します。

それでは、今後の更新手続きについて、事務局から説明をお願いします。

(大島主任) 今後の更新手続きについて説明させていただきます。今ほどの運営協議会の決定を受けて、運営協議会の主宰者である上越市長から「運営協議会において協議が調ったことを証する書類」を更新団体に交付させていただきます。

この書類を新潟県交通政策局へ提出し、新潟県交通政策局で審査が行われた後、更新登録が行われることとなりますので、よろしくお願

いたします。

(樋口会長)            それでは、今ほど事務局から説明がありましたことについて、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

(樋口会長)            最後に本日の運営協議会全体を通して、ご意見はありますでしょうか。

(竹内委員)            公共交通は無くしてはならない資源です。ですがその大切な資源がなくなってきています。バスやタクシーが減り交通空白と呼ばれる地域が増えています。福祉有償運送は公共交通では賄えない部分を補完するため平成 18 年に制度化されました。当初は交通事業者の業務を侵されるのではと軋轢があった地域もありましたが、地域の中で連携してやってくるのとこのことで、全国的に協議会の持つ意味が重要となってきました。一方で、登録会員は増えているが高齢化により運転手が減少しているとの状況がでてきております。公共交通が空白化し福祉有償運送も提供できないとの話がある地域が出てきております。

近年、国土交通省が話を進めているのが、人を運ぶのが旅客運送ですが、トラックが人を運ぶことができないか、あるいはバス、タクシーが荷物を運ぶことができないか。そういう話がでてきております。相互利用とのことではありますが、過疎地であればこのようなことを行っていかなければ動かない状況になっております。ただいまパブリックコメントを行っており、9月中にはまとめり新たな制度として出てくる雰囲気となっております。個人的には過疎地においてはそのようにならないと分かっておりますが、そこまでいってしまうと大変であると思っていますところでは。

上越地域においては中心部とそれを取り巻く地区は交通網が全く違うので難しい部分もありますが、バスやタクシーに物を載せる、トラックに人を乗せる等、そこまでいかないよう対応を我々が連携してやらなくてははいけません。引き続きよろしく申し上げます。

(丸山委員)            シニアパスポートは高齢者割引になる制度ですが、このような制度を



活用して地域の活性化をしていかなければならない。福祉有償運送の団体が高齢化しているとの話がありましたが、我々の団体も高齢化しております。運送業務については無くしてはならないよう、地域の中で連携してまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(樋口会長) NPO 法人 NPO 雪のふるさと安塚と NPO 法人スキップにおかれては地域の大切な交通資源となりますので引き続きよろしくお願いいたします。

(樋口会長) ほかに意見はございませんでしょうか。特にないようですので、本日予定しました議題の協議はすべて終了しました。

ここで、議長の任を解かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

(藤井係長) 長時間にわたるご協議ありがとうございました。

続きまして、次第4の「その他」でございます。平成29年度の上越市福祉有償運送運営協議会につきまして、本日の協議会をもって、平成29年度の実施団体の更新にかかる協議は終了しました。

なお、運営協議会につきましては、年2回までを予定しておりますので、皆様に審議していただく案件が生じましたら、改めてご連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。

以上で事務局の報告を終わります。皆さんの方で何かございますか。

(山川委員) 上越市がもっと豊かになってほしいと思います。お互いの立場を尊重しながら上越市が潤って私たちも利用できるような仕組みができれば良いと思います。

(横山委員) 公共交通のあるべき姿や福祉有償運送について勉強になり有意義でした。また第2回がありましたらよろしくお願いいたします。

(藤井係長) これをもちまして、平成29年度第1回上越市福祉有償運送運営協議会を終了させていただきます。お気をつけてお帰りください。

9 問合せ先

健康福祉部福祉課福祉係 TEL : 025-526-5111 (内線 1150)

E-mail : fukusi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。